

Table with columns: 事務事業名, 政策名, 施策名, 関連個別計画, 法令根拠, 予算科目, 事業概要. Includes details for '市営住宅管理事業' and '自然と潤いがある安全快適なまちづくり'.

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

Main performance table with 7 columns: ①手段, ②対象, ③意図, ④結果, ⑤活動指標, ⑥対象指標, ⑦成果指標, ⑧上位成果指標. Includes sub-tables for activity, target, and result indicators.

(2) 総事業費の推移

Table showing total project cost trends from 28th to 31st fiscal years, including sub-categories like 国庫支出金, 県支出金, etc.

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

Table for environmental changes and citizen opinions, with 3 rows of questions and answers regarding project start, changes, and stakeholder feedback.

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 住宅困窮者・低所得者に安価な住宅を供給することにより、自然と潤いがある安全快適なまちづくりの安全で快適な住まい・まちづくりの政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公営住宅法に基づくものであり公共関与は妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 公営住宅法により、住宅困窮者に対して低廉な家賃で住宅を賃貸することで居住環境の改善を図れるため妥当である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある ・市営住宅の良好な管理運営のために、住宅使用料収納率向上の必要がある。 ・空き部屋の解消により、適正な住宅使用料を徴収する。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない ・公営住宅としての適正な維持管理ができなくなる。 ・住宅困窮者の受け皿がなくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ （仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 建物の老朽化により修繕等の要望が多く、市営住宅の良好な管理運営のために事業費削減の余地はない。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 市営住宅の管理運営にあたっては、必要最小限の人員で実施しており削減の余地はない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 入居者から公営住宅法に基づく住宅使用料を徴収し、その費用負担により住宅の維持管理業務等を行っており公正・公平である。

3. 改革・改善方向の部

<p>(1) 改革の方向性（改革案・実行計画）</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し（<input type="checkbox"/>：目的妥当性 <input type="checkbox"/>：有効性 <input type="checkbox"/>：効率性 <input type="checkbox"/>：公平性） <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続</p> <p>・入居者に住宅使用料の滞納が生じた場合、電話や戸別訪問（夜間・休日含む）による納付指導及び督促状等文書による催告や保証人への納付指導依頼等の実施により適切な収納管理を行う。 ・貸出できない空き部屋の修繕を行い、適正な住宅使用料を確保する。</p>	<p>(3) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
<p>(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？</p> <p>・滞納が生じた場合に、督促等の措置を早期に講じ、入居者の収入等の状況や事情を十分に把握し個別具体的に納付指導を行う。 滞納が長期化する入居者に対しては、市営住宅の入居許可を取り消すとともに、住宅の明け渡しを請求する。 ・市営住宅の空き部屋を解消するため、入居者のニーズに応じた修繕を行い、より一層の周知を図り適正な入居世帯を確保する。</p>																								

4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

<p>(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足（説明責任不充分） <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える</p>	<p>(5) 改革・改善による期待成果</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
<p>(2) 2次評価者としての評価結果</p> <p>①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p> <p>③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>																								
<p>(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充</p> <p><input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善</p> <p><input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大</p> <p><input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）</p>	<p>(4) その他2次評価会議で指摘された事項</p>																							